

新市立病院のご案内

平成23年 長崎市









長崎市病院局企画総務課 長崎市新地町6-39 TEL: 095-822-3251

 \Box E-mail: byouin_kikaku@city.nagasaki.lg.jp \Box ホームページ: http://www.nmh.jp/

平成24年4月、長崎市病院局は地方独立行政法人長崎市立病院機構へ移行します。



施設の概要

事業用地

●地 番:新地町84番1 常盤町2番5ほか

●敷地面積:11,018㎡

2 病院棟

●延床面積:40,600㎡程度 ※病院機能部分は、38,700㎡程度 ※平成23年11月時点での計画面積

●階数: I 期棟(地下2階、地上8階) Ⅱ期棟(地下1階、地上4階)

●主体構造:鉄筋コンクリート造

一部鉄骨鉄筋コンクリート造

及び鉄骨造(免震構造)

●病床数:513床(結核病床13床含む)

●年間延べ入院患者数 160,000人 (病床利用率 86.0%)

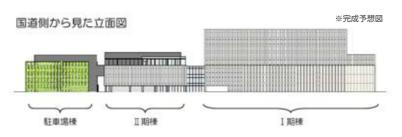
●年間延べ外来患者数 200,000人

3 駐車場棟

●延床面積:9,915㎡ ●階 数:地上5階 ●駐車台数:350台

* 完成予想図

スケジュール					
項目	期日				
PFI事業契約締結	平成22 (2010) 年	12月			
工事着手	平成24 (2012) 年	2月			
I期棟建物の開院	平成26 (2014) 年	2月			
全面開院 (グランドオープン)	平成28 (2016) 年	5月			
PFI事業期間終了	平成43 (2031) 年	3月末			





事業手法と事業契約の相手方

1 事業手法

新市立病院の整備手法は、施設の整備と運営を一括発注するPFI方式を採用していますので、新市立病院の設計や建設に加え、建設後の建物のメンテナンスや清掃、保安等の事業を一括して契約しています。

また、このPFI方式は、すでに市立図書館で導入して

2 事業契約の相手方

大成建設グループが設立した新市立病院の整備運営の ための特別目的会社(SPC)である「長崎ホスピタルパー トナーズ株式会社」と事業契約を締結しました。



新市立病院が提供する医療

1 救命救急医療

新市立病院には、「ER型救命救急センター」を整備しますので、休日や深夜など時間外の急な病気はもとより、すぐに手術をしなければ命に関わるような病気にも、24時間365日対応します。

また、I期棟の屋上には一刻を争う患者の搬送に備え、ヘリポート(飛行場外離着陸場)を整備します。

3 周産期医療

新市立病院では、現在の市民病院が実施している母体・胎児、そして生まれたばかりの赤ちゃんのための周 産期医療も引き続き行います。

② 高度・急性期医療

新市立病院では、脳梗塞などの「脳血管疾患医療」、心筋梗塞をはじめとした「心疾患医療」、日本人の死因の第1位である「がん医療」の治療にあたります。

高度・急性期医療の提供にあたっては、地域の医療機関 との連携をはかります。

4 政策医療

市立病院として、災害医療、結核医療、感染症医療の政策医療を実施します。

新市立病院の機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
			E & h D	# #	
救急 医療		対応する疾患 ○脳卒中 ○急性心筋梗塞 ○事故による搬送等	医療内容 ○救命救急センターの整備	備 考 ○救命救急センター20床(ICU 4床、HCU 16床) ○ヘリポートの設置	
脳血管疾患医療 〇		○脳梗塞 ○脳出血 ○<も膜下出血等	○血管造影、CTによる検査の実施 ○t-PA治療の実施 ○カテーテル治療の実施	○SCU 2床の設置 ○早期リハビリの充実 ○地域連携の推進	
		○心筋梗塞 ○狭心症等	○心臓力テーテル検査を積極的に取り入れ、ステント留置術を実施するなど内科的治療の充実 ○冠動脈バイパス術等の外科的治療の充実	○CCU 6床の設置 ○血管造影室の増設	
が ん 医 療		○消化器系、 呼吸器系等の 全てのがん	○外科療法、化学療法、放射線療法、ラジオ波凝固療法、ホルモン療法の実施○上記治療法を組み合わせた集学的治療の実施	○地域がん診療連携拠点病院○がん相談支援センターの設置○緩和ケアチーム○教育、研修機能の充実	
周産期医療		○ハイリスク出産、 低出生体重児に 対する医療等	○産科、小児科双方からの一貫した医療の実施	○大学病院との連携○新生児治療室 6床、継続保育室 10床、 産科病床 15床の設置○産科オープンシステムの実施○陣痛、分娩室の充実	
小児(医療	○小児総合医療	○小児救急への対応○各疾患への対応	○大学病院、各専門病院との連携	
血液浄化医療		○慢性腎不全 ○急性腎不全 ○薬物中毒等	○透析導入、急性腎不全を含めた救急透析治療、 特殊血液浄化療法の実施	○透析装置30台 ○CAPD室の設置	
各診療科の高度医療		○紹介患者中心 ○診断困難症例 ○治療困難症例	○地域医療支援病院として紹介患者を中心とした 診療の実施○急性期医療を脱した患者に対しては、速やかに 紹介医あるいは患者に最も適した医療施設に逆 紹介の実施	○各診療科の体制及び医療機器の充実 ○急性期リハビリテーションの充実	
	災害医療	○総合医療	○災害時における総合的な医療の提供	○地域災害医療センター(災害拠点病院) ○免震構造	
政策医療	結核医療	○肺結核等	○結核医療機能の整備	○結核病床13床	
	感染症医療	○赤痢等感染症	○感染症医療機能の整備	○第二種感染症指定医療機関 ○感染症病床6床	
教育研修機能				○医師確保の拠点病院 ○研修プログラムの充実 ○後期研修医(レジデント)の確保 ○医療従事者の研修体制の充実 ○働きやすい環境づくり	

平成23年11月現在